様式第１号

令和４年度　学校経営計画書

学校番号	26	学校名	静岡県立富士東高等学校	校長名	清水　俊幸

1　目指す学校像

(1) 教育目標「未来を拓く生きる力の育成と進路希望の実現」

校訓「己ヲ磨キ他ニ尽クサン」の下、地域社会の発展を担い、リーダーとして活躍する人材を育成する。

①　社会的な課題に関心をもち、自律的なキャリアデザインを描きながら自ら進んで学ぶ力を育む。

②　多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、未来を主体的に生き抜く人材を育成する。

③　地域から信頼される「文武両道」の進学校として、伝統を守り、新たなブランドを築く。

(2) 目標具現化の柱

ア　探究学習の充実を通して、自ら進んで学ぶ「自立したキャリアプランナー」を育成する。(①)

イ　学力の三要素に根差したバランスの良い学力を育成する。(①)

ウ　系統的･組織的なキャリア教育の推進により、高い志をもって自己実現を目指す生徒を支援する。(①②)

エ　文武両道の精神に基づき、心身ともに調和が取れ自己管理能力に優れた生徒を育成する。(②③)

オ　時代の要請に対応し、教職生涯を通じて学び続けるための教職員研修の充実を図る。(③)

カ　安全・安心な環境整備と広報活動の充実により、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。(③)

2　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**自身のキャリアデザイン及び社会的な課題への関心･意欲をもち、進んで課題解決に取り組む生徒を育てる。**	○静岡県立大学との連携・協働による探究学習の充実 ○自らの探究課題に応じた外部連携 ○生徒自身による積極的な発信 ○３年間を見通した系統的・螺旋的な探究プログラムの構築	・県大STAFFによる支援／６回以上 ・学生サポート満足度／80%以上 ・外部連携できた生徒／100% ・外部セミナー参加／60%以上 ・３年間の取組計画（ロードマップ）の作成・実施・改善	ｵﾝﾘｰﾜﾝ・探究委員会
イ	**各教科における授業研究（指導と評価の一体的な充実）を通して、質の高い思考力と主体性を育む。**	○「主体的･対話的で深い学び」の実現 ○各教科・科目における課題解決的な学びの充実 ○大学入学共通テストに対応できる学力を育む、思考力と主体性の育成に資する授業研究 ○指導と評価の一体化を目指した授業改善サイクルの構築 ○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に資するＩＣＴ活用 ○特色化に資する教育課程検討	・授業で自らの「思考力」「主体性」「コミュニケーション能力」を使う場面があると答える生徒／70%以上 ・自ら進んで授業に取り組む生徒／50% ・単元ごとに「問い」の設定と「成果」の想定をした教員／いずれも80%以上 ・単元ごとに指導と評価を計画の見通しをもって授業を実施した教員／100% ・Google Classroomやロイロノートを授業で活用した教員／70%以上 ・１人１台タブレットを活用した答える生徒／80%以上（１年生）	教務 各教科 学年部
ウ	自らの生き方を主体的に選択する高い志をもち、その実現に向けて粘り強く切磋琢磨する生徒を育てる。	○「学びの基礎診断」（スタディーサポート･実力テスト）実施による学力把握と指導改善 ○各種模試等の結果分析等を踏まえた学習指導の充実 ○生徒の自主性、主体性を促す課外補講等及び家庭学習指導の改善 ○自習機能の充実 ○各種進路行事等を通した進路希望実現への意欲喚起 ○ＰＴＡ職業講話、卒業生との交流等、キャリア教育の視点からの生き方教育の充実	・スタディーサポート結果分析会／全学年で実施 ・外部模試等の結果分析共有／年間３回以上 ・「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒／１年50%　２年50%　３年80% ・１週間の家庭学習時間の平均／１年14h　２年16h　３年32h ・自習環境（東雲学習会）の整備 ・外部検定に挑戦する生徒／20%以上 ・マーク駅伝参加率／90%以上（３年生） ・職業講話が将来設計展望につながったと答える生徒／30%以上 ・卒業生の話が進路選択の役に立ったと答える生徒／30%以上	進路 総務 学年部

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	学習・特別活動・部活動の両立を通して、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育成し、人格の完成を目指す。	○基本的生活習慣の確立 ○日常的な挨拶の励行 ○学校行事の充実 ○ガイドラインに即した各部活動の充実 ○各部活動の社会貢献活動の充実 ○読書週間の充実と図書館利用促進 ○自他の人権を大切にする態度や行動力の育成 ○心の居場所づくりを目指した生徒と教職員の信頼関係の構築 ○健康教育の充実による健康保持増進意識の向上 ○交通安全指導による交通ルールとマナー遵守 ○防災教育の充実による防災・減災意識の育成	・挨拶運動／月１回 ・挨拶や服装を徹底していると答える生徒／80%以上 ・遅刻・欠席の割合／前年度比マイナス５%以下 ・東雲祭、球技大会の満足度／80%以上 ・生徒の部活動満足度／各学期80%以上 ・社会貢献活動／各部活動年１回以上 ・テーマに即した本を選び視野を広げたり知識を得たりできた生徒／90%以上 ・安心安全な学校づくりアンケート／学期１回実施 ・信頼する教員がいると感じる生徒／80%以上 ・健康診断有所見者の治療完了率／100% ・月１回の情報提供による交通違反意識の注意喚起 ・防災講座をリニューアルして実施	教務 生徒 総務 学年部 各部活動
オ	**新しい時代の学びを支える教職員の資質・能力の向上を図り、カリキュラム・マネジメントを推進する。**	○スクール・ポリシーの策定と共有 ○最新の教育情勢の共有 ○少人数ユニットによる公開授業と相互参観の推進 ○学習評価の改善・充実 ○ＩＣＴを活用した学習指導の研修 ○県内外の先進的知見の情報収集 ○高大接続一体改革への対応 ○進路情報の収集蓄積と研修による進路指導力の向上	・12月までにスクール・ポリシーを策定 ・しののめだより発行／年間10回以上 ・公開授業／各教員１回以上 ・相互参観／各教員２回以上 ・学習評価に係る全体研修／年間５回 ・ＩＣＴ活用を促す研修機会／年間２回 ・県外視察、研究会参加／６人以上 ・クラウドを活用した、進路情報や国の最新動向の情報共有	管理職 教務 進路 各教科
カ	校内外の環境整備に努めるとともに、学校の取組を社会（保護者・地域）に開く。	○教職員のコンプライアンス意識の向上 ○学校内外の美化･清掃活動の徹底 ○施設・設備の維持管理 ○定期的な安全点検の実施 ○組織的な「働き方改革」に向けた校務の効率化・合理化促進 ○中学生向けの情報発信の工夫 ○保護者・地域に向けた情報発信の強化	・不祥事根絶セルフチェック／遵守率80%以上 ・専門委員による環境衛生活動及び点検／週１回 ・清掃・安全点検／月１回 ・学習環境が良好だと思う生徒の割合／75%以上 ・学習支援クラウドサービス活用による欠席連絡と健康観察の電子化 ・学校案内のリニューアル ・ホームページ、公式ＳＮＳによる発信／日平均１回以上	管理職 生徒 総務 事務部 広報委